

学際研究を芽吹かせる「分野横断プラットフォーム構築事業」

白井 哲哉[○]、仲野安紗（京都大学 学術研究支援室）

京都大学 研究大学強化促進事業「百家争鳴」プログラムとは？

京都大学では、文科省・研究大学強化促進事業の一環として、京都大学「百家争鳴」プログラムを展開している。本プログラムの目的は「学際」「国際」「人際」融合を進めることである。具体的には、URA が ①多様な教員が集う場、② 教員・職員・URA が集う場、③ 教員・企業人・市民が集う場といった新しい「場」の創出を行っている。



分野横断プラットフォーム構築企画

【目的】 より多くの学際（共同）研究が芽吹くための土壌（プラットフォーム）を構築する

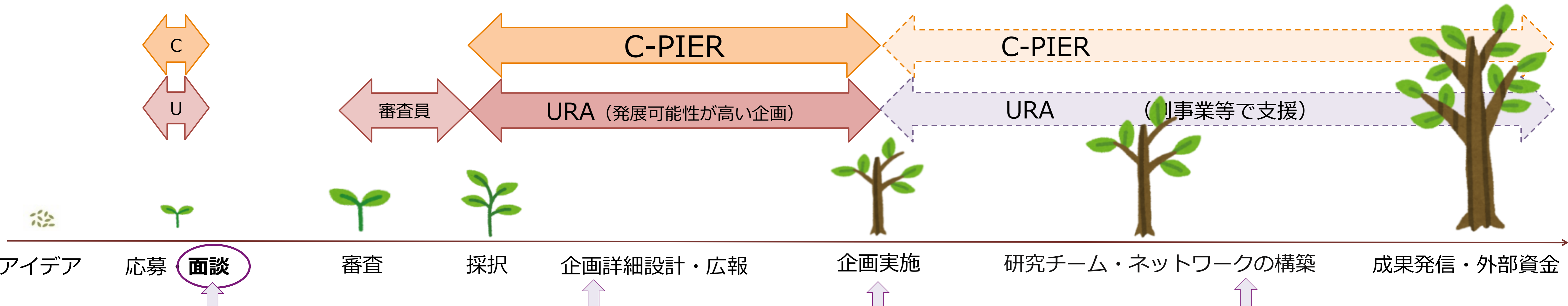
【対象】
新たな学際（共同）研究の萌芽的アイデアがあり、研究プロジェクトの実現に向けて動き出そうとしている京都大学の研究者

【手段】
WS・研究会の開催支援、コンテンツ作成支援、各種助言、人の紹介 etc.を通して、企画者と学内外の研究者、省庁、自治体、企業、NPO、市民等とがつながる場／機会／環境を醸成・拡充させる。

【期待できる効果】

- ・本学に学際力（多角的な視点・広い視野、異分野間のコミュニケーション力等）とPM力（運営ノウハウ、事務能力、意見をまとめ上げる等）をもった研究者が増える。
- ・本学に分野横断型のさまざまな研究チームやネットワークができる。

【事業体制】 ※学術研究支援室と学際融合教育研究推進センター（C-PIER）とが連携して実施



【各種アドバイス】
テーマ設定・研究者紹介・広報/参加者集め・ファシリテーション方法・ディスカッション方法 etc.

【経費支援】
会場費・広報費・招聘/出張費・消耗品等 etc.

【成果発信支援】
K.U.Research のWEBサイト・Facebookを通じて新たな研究プロジェクトの発信・成果蓄積

【成果・実績】 学術研究支援室（URA）による京都大学の研究を発信するWEBサイト（K.U.Research）で 採択実績を公開